

京都大学生協 君がため春のルネに出でてパフェ食べる



[店舗]

取り組み概要

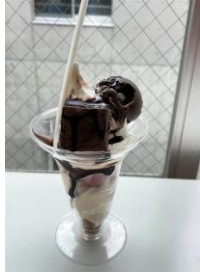
日時：2023年4月17日~28日
場所：京都大学生協カフェテリアルネ
組合員の反応：総計1191食 提供
パフェコーナーに大行列ができるほどの
人気企画となった。

概要：京都大学生協学生委員会あらんじえ主催。
春休みにメニューの考案や試食会を行い、1週間に2種類ずつ、計4種類のパフェを提供した。SNSを利用した事後企画「#君パフェ」も実施した。

店舗に入った瞬間から事後までパフェを堪能♪

POINT.1

新入生にパフェコーナーを知ってもらうために



今年度、関西北陸ブロック方針「組合員が参画する場づくり」分野において、ブロックで大切にしたいポイント①に「組合員が主体的に店舗を利用し、運営に参加できる場づくりをしましょう」と掲げています。

毎年、京都大学生協カフェテリアルネ（以下：ルネ）では、新入生の入学に合わせてパフェ企画が行われています。本企画の目的は、ルネの特徴ともいえるパフェコーナーの存在を知ってもらうこと。昨年度の「春はパフェごろ」に続き、キャッチーな企画名で組合員の目を惹いており、多くの組合員がルネに足を運びきっかけになっていました。

POINT.2

店舗中を巻き込んだ情宣

ルネの前にある大階段には、大きな広告がびっしり！階段の右にも左にも企画のポスターが掲示され、店舗に入った瞬間から、企画の存在感が漂います。実は、この広告のデザインも、学生委員会が手掛けました。学生委員会によると、ルネで企画を行う際には毎回大広告を作成しているそうです。企画の存在が一目でわかり、店舗に入った瞬間から、企画の存在をアピールする工夫がなされていました。



POINT.3

学生委員会公式SNSを用いた事後企画



メニューの提供だけで終わらないのが京大流。本企画では、「#君パフェ」をつけてパフェの写真をSNSに投稿した後、企画のアンケートに回答すると、抽選で10名にパフェ無料券が当たるといった取り組みがなされていました。単にオリジナルパフェを提供するだけでなく、組合員が手軽に使用しているであろうSNSを絡めた企画となっており、多くの組合員の購買意欲をかきたてていました。パフェを買ったときだけでなく、買った後まで企画を楽しめる点も素敵ですね。

